



長崎平和祈念式典に参列。あの日を忘れない。未来永劫、最後の被爆地でありますように。



北東アジア非核兵器地帯(3+3)を推進する日韓の国際議員連盟を長崎で設立。

北東アジア非核兵器地帯(3+3)とは？

日本・韓国・北朝鮮の3カ国が国際機関の検証を前提とした非核兵器地帯を構成し、アメリカ・中国・ロシアの核兵器保有国3カ国がこの地域に対して核による攻撃、核の威嚇をしないことを定める国際条約案です。



「被爆者問題議員懇談会」超党派国会議員で設立！「戦後は終わっていない」政府に救済を求める。



子どもマスクやワクチンについて、ママさん達の団体から要望書を大村事務所へ受け取る。



若者と政治家のトークイベントを開催！芸能界から堀潤さん、たかまつななさんも参加。



千葉県いすみ市でオーガニック給食の視察。長崎県の各自治体でも動き始める。



長崎県内各地で国政報告会を開催中！あなたの声を聞かせてください。



国会中も月曜の朝は「朝カツ」継続中！土日は、長崎県内各地で活動してます。

第208回国会 三ツ星議員 713名の国会議員から14名が表彰

国会議員の評価を行うNPO法人万年野党(会長田原総一郎氏)から表彰されました。初当選後の通常国会でこのような賞をもらえるとは思っていませんでした。国会へ送って頂いた地元長崎の皆様に対し、心より感謝申し上げます。

万年野党は、「議員の発言・質問回数」、「議員立法の回数」、「質問主意書の提出件数」を集計し、高スコアの議員を「三ツ星議員」として選定・表彰します。私は昨年一年間の国会活動で、発言・質問は23回、議員立法による法案提出は7回行いました。

新人議員であっても国民の皆様の声をご各大臣へ直接ぶつけることができ、数々の法案作成にも関わりました。答えは現場にある！これからも現場主義を貫き、お一人お一人の声を大切に活動して参ります。



三ツ星議員表彰式

YouTube
山田カッチャンネル



コオロギ食は安全なのか？ 昆虫食に食品表示を求める！



酪農、畜産の危機を救え！ 一頭10万円の緊急支援を要請

SNS
情報

お友だち登録をお願いします。
ご意見・ご質問もお受けします。



山田勝彦 検索



@yamabiko719

立憲民主党長崎県第2区総支部
山田勝彦事務所

〒856-0805 長崎県大村市竹松本町 859-1

TEL: 0957-46-3788 FAX: 0957-46-3789

国会事務所: 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館401号室 TEL 03(3508)7420

info@cdp-nagasaki.jp

www.yamada-katsuhiko.com

2023.06.01

No.05

立憲民主
RIKKEN MINSHU

立憲民主編集部 〒101-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
三宅ビル7F
Tel. 03-3595-9988
Fax. 03-3595-9088

からちゃん News

衆議院議員 山田勝彦

国会や地元長崎での日頃の活動をお伝えします。
政治をもっと身近に。そんな想いで発行しています。

第208回国会
三ツ星議員

1979年7月生まれ/大村高校卒業/法政大学卒業/2003年~会社員
2009年~国会議員秘書/2013年~株式会社やまびこ学苑 設立(障がい福祉・農業)
大村市で妻と息子の3人暮らし 趣味:野球 好きな時間:息子とキャッチボール

あなたの声を
国政へ

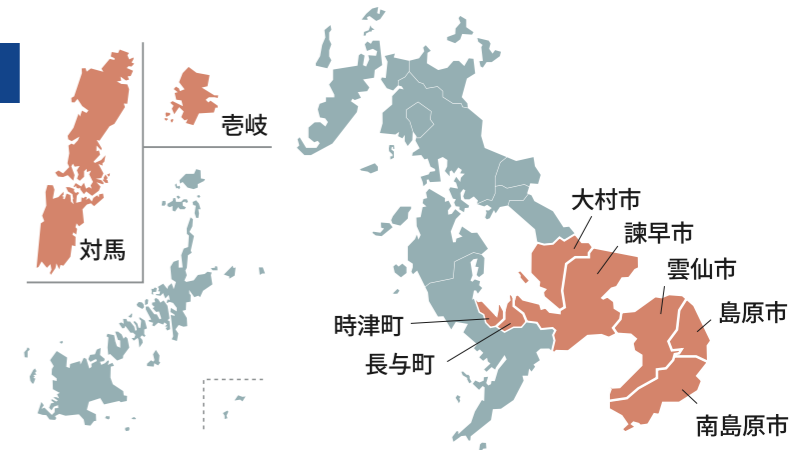
1 衆議院小選挙区の区割りが変更 立憲民主党「新長崎2区」総支部長に就任！

昨年の臨時国会で、衆議院小選挙区の数を「10増10減」する改正法が成立しました。これから地方の国会議員が減り、都市部の国会議員が増えることが決まり、長崎県の小選挙区は4から3へ減ることになりました。地方の声を国に届ける議員が減ることで、これまで以上に国の予算が地方に届きにくくならないか？そうならば、ますます「地方の人口減少」が加速していきます。地元の声を国政へ届ける役割がより重要になります。

この問題の本質は、「地方の人口減少をいかに止めるのか?」「地方に雇用をどのように創るのか?」です。「地方と都市部との賃金格差の是正」「農林漁業者への所得補償で後継者が育つ農林水産業」「保育士や介護・障がい福祉職員の賃金UP」等の具体的な政策を急ぎ進めなければなりません。一度、故郷を離れた若い人たちが、希望をすれば故郷に帰って来られる。そんな選択肢を用意することが、長崎県民の皆様を代表し、国会で働く者の重要な仕事であることを強く自覚し、「新長崎2区」の各地を駆け回ります。

新長崎2区

- ・対馬市
- ・壱岐市
- ・大村市
- ・諫早市
- ・時津町
- ・長与町
- ・雲仙市
- ・島原市
- ・南島原市



2 防衛財源に年金を流用! ? 今は、物価高から国民の暮らしを守る政治を優先すべき!

物価は上がり、賃金は上がり、年金まで下げられる。地域をまわれば、「生活が不安だ」の声がたくさん聞かれます。そのような中、「防衛増税」。さらに、驚くべきことに自民党岸田政権は、5年で43兆円という巨額の防衛費を賄うために年金の財源を流用しようとしています。今国会の重要法案「防衛財源確保法」は、「独立行政法人地域医療機能推進機構の残余额を年金特別会計に納付しなければならない」という法律を無効にし、この残余额を防衛財源に充てるための法律です。このような悪政を許すわけにはいきません。

立憲民主党は、「消費税5%減税」「ガソリン税減税」「年金の上乗せ給付」等の物価高対策を提案し続けています。なぜ、自民党は反対するのでしょうか?今、政治が行うべきは、国民に「防衛増税」を求めるのではなく「物価高対策」であり国民の暮らしを守る政治ではないでしょうか?

政治とは
生活である



暮らしの現場の声を伺う

3

大胆な子育て支援策で「人口減少」「少子化」を克服し、日本の経済成長を取り戻す！

ウクライナ情勢や台湾有事など国際情勢の変化により、国防の重要性は増しています。私たち立憲民主党は、必要な防衛予算は増額すべきだという立場です。特に深刻な人手不足である**自衛隊員の処遇改善**を求めています。しかし、私たちの国の最大の課題は「人口減少」と「少子高齢化」であり、政治が最優先に取り組むべきは、「**防衛予算の倍増**」より「**子ども予算の倍増**」ではないでしょうか？日本は、子育て支援策の公的支出がGDP比1.79%で、先進国中最低レベルです。**子ども予算は未来への投資**であり、誰もが安心して子どもを産み育てられる社会を実現すれば、結果として税収がアップし、国に返ってきます。私たちは、国債を発行してでも「**教育の無償化**」を実現すべきだと提案し続けています。

岸田総理は「**防衛増税**」への批判が高まると突如、「**異次元の少子化対策**」と言い出しました。本当でしょうか？令和5年度予算、**防衛費が前年比+26%に対し、子ども予算はわずか+2.6%**です。そして、その財源として社会保険料の更なる国民負担増が検討されています。コロナ禍や物価高で生活困窮している国民の皆様に負担を強いる前に、民主党政権から自民党政権に戻ってから完全復活している「天下り」の改革などの**歳出削減**こそ真っ先に行うべきではないでしょうか？

岸田政権は学校給食の無償化を言い出しましたが、国会で質問しても実施時期、対象、財源は全く未定です。一方、私たち立憲民主党は「**学校給食無償化法案**」をすでに提出しています。もし、防衛費倍増「5兆円」があれば、「**小・中学校の給食無償化4700億円**」「**児童手当の高校までの延長と所得制限撤廃1兆円**」「**大学授業料の無償化1.8兆円**」が実現できます。私たちなら子育て支援策を前へ進めます。もし、岸田政権が防衛増税を強行するならば、国民の皆様に信を問うべきです。「**防衛増税ファースト**」か？「**子どもファースト**」か？

義務教育は無償ですが、学校給食費は保護者の負担です。

<年間平均負担額>	公立小学校	公立中学校
学校給食費	4万9247円	5万6331円

令和3年度学校給食実施状況等調査より

誰もが安心して給食を食べられるようにするため、国による一律の支援が必要

立憲民主党は学校給食無償化法案を提出しました！

年間所要額約4700億円が無償化を進めることができます

さらに 立憲民主党は、安全な給食を実現します！

- ✓国産農産物の利用促進
- ✓有機農業の振興
- ✓オーガニック食材の利用推進

子ども達の未来のために

5

酪農、畜産の危機は、私たち国民の食卓の危機！食べ物なくして生きていけない。ミサイルより飯！

現在、畜産農家の皆様は、飼料、燃料などの生産コストが急激に高騰しているにも関わらず、乳価や畜産物価格に転嫁できず、かつて経験したことのない深刻な経営危機に直面しています。現場から悲痛な声が多数届いています。「**50頭から60頭飼育の酪農家で毎月100万円の赤字。貯金を崩したり、親牛を売ったりしながら、何とか家族が食べていけるよう凌いでいる状態。このままでは、借金を抱えたまま、廃業するしかない。**」「**もう限界です。地元では夫婦で命を絶った人もいます。**」「**国の支援が未だに届きません。対応が遅いです。**」

このまま、山火事にジョウロで水をかける程度の支援では焼け野原になってしまう。私は強い危機感を抱き、長崎県内各地の現場の声を野村農水大臣へぶつけ、緊急支援を迫りました。「毎年海外から輸入している乳製品のカレント・アクセス数量13.7万トンは今すぐ止めるべきだ。この貿易協定は、他国は満たしていないし、日本だけが忠実に守る必要はない。**国内の酪農家と私たち消費者を守るため、政治決断で輸入を止めてもらえないか？**」とお願いしました。しかし、自民党政権は、このような緊急事態においても今後も乳製品の輸入をし続ける方針です。さらに、「**この危機を救う唯一の政策は、現場への現金給付しかない。**昨年のような一頭あたり1万円ではなく、もう恒常的な赤字が一年続いている。事業を継続してもらうため、**一頭あたり10万円の緊急支援**を実施すべきではないか？」と迫りました。農水省は検討の結果、昨年同様一頭あたり1万円の支援を行うと公表しました。現場の危機感が全く伝わっていません。昨年12月の第2次補正予算で農水省は総額8206億円も計上しました。一頭10万円の現金給付の予算は約700億円程度です。そして、「政府の飼料高騰対策事情は、配合飼料メーカーと取引ある生産者のみで、自家配合している生産者が対象になっていない。そのような差別はおかしい。**自家配合にも物価高対策の支援を行うべきだ**」と質問し、野村大臣は「対応する方針だ」と答えられました。その後、農水省はトウモロコシのみ1トン1200円の補填を公表しましたが、これもまた支援内容が不十分です。



畜産現場の悲痛な声を伺う

私たちは食べることでしか生きていけません。**食料自給こそ最大の安全保障**です。これ以上の廃業を食い止め、日本の農業と食を守るため、これからも現場の声を届け、必要な支援策を訴え続けます。

食料自給こそ安全保障



農林水産委員会で質疑

4

「食の安全」について河野大臣と国会論戦！コオロギ食の食品表示を求める！

最近、ママさん達とお話会をしていると給食にコオロギが提供された話題になり「**コオロギを子どもに食べさせたくない**」という声をよく聞くようになりました。昆虫食の安全性に不安の声が高まっています。そこで「**なぜ、コオロギなどの昆虫食に対し、ヨーロッパのように食品表示しないのか？**」と質問しました。河野大臣からは「陰謀論者によるでっち上げに迷惑している」と驚くべき回答がありました。また、アレルギー表示の必要性については、「健康被害が現時点で出てないから大丈夫」だと言われました。**被害が出てからでは遅い！**あまりにも**国民の命と健康を軽視**しています。海外のように、昆虫食に対する安全性評価や表示義務を日本でも行うよう、強く求めています。

また、スーパーのパンによく見られる「**小麦粉（国内製造）**」の表示は、多くの消費者が**国産小麦だと誤解**しています。国産小麦は15%しかなく、国内製造表示のほとんどは輸入小麦です。消費者は小麦粉の製造地でなく、小麦の生産地の表示を求めています。他の国々のように、加工食品の主な原料の生産国を表示すべきだと主張しました。さらに、消費者庁は4月から食品表示のルールを変更し、「**遺伝子組み換えでない**」表示を**事実上無くしました**。消費者のために「**遺伝子組み換え**」表示を義務付けるべきだと質問しました。

消費者の知る権利、選択する権利を守るため、これからも消費者の声をまっすぐ届けます。

食を選ぶ権利を守りたい



消費者委員会で質疑

6

日本はいつまで「難民鎖国」と呼ばれ続けるのか？入管行政を改革し、真の共生社会を実現！

日本の難民認定率は先進諸国の中で極めて低く、国際社会から批判を受け続けています。**難民を保護せず、母国で迫害される恐れがある人を強制送還する政府が、私たち国民の命や人権を大切にしてくださいか？**命の尊さに国籍は関係ありません。難民申請の回数を制限し難民申請者を強制送還することを可能にする政府案は、明らかに「**国際法違反**」です。「**改悪**」でなく「**改正**」へ。難民認定機関を入管庁から切り離し、**独立した第三者機関による「難民等保護委員会」を創る**ことを提案しました。本来難民として保護すべき人や在留特別許可を与えるべき人に当たり前に私たちの国で生活してもらう。真の**外国人との共生社会**が実現されるよう、入管行政の制度改革を強く求めます。

外国人の命と人権を守る国へ



この国会で正々堂々と国民的議論をしようではありませんか？
本会議で入管法への質疑